

平成19年度事業計画

1. 担当理事の役割と活動

- 1) 総務担当(3館) : 協会の組織・運営及び国内他組織との渉外に関する事項
- 2) 人材育成担当(4館) : 職員の資質向上に関する事項
- 3) 国際担当(2館) : 国際事業に関する事項
- 4) 学術情報担当(3館) : 学術情報資源に関する事項

2. 委員会の主な活動

1) 総務委員会(常置)

協会の組織・運営及び広報に関する企画・立案並びに協会賞等の企画・審議を行う。

○新たな活動計画・重点事項

数年後に向けて協会の組織、運営、総会などの見直し(再検討)開始
理事館/委員会のあり方の検討

2) 国際学術コミュニケーション委員会(常置)

グローバルILL/DDの展開、SPARCとの連携の継続・発展、国際的な学術コミュニケーション全般に関わる活動を行う。

○新たな活動計画・重点事項

日韓ILLのISO ILLリンク及び料金決済の安定運用

3) 人材委員会(常置)

国立大学の図書館が必要とする人材の計画的な育成に必要な事業、図書系職員の処遇問題の検討を行う。

○新たな活動計画・重点事項

図書館職員の資質向上のための能力開発事業の企画・実施

4) 学術情報委員会(常置)

学術情報の円滑かつ安定的な収集、提供、保存を図るため、増大、多様化する学術情報メディアの動向及び諸課題について検討する。

○新たな活動計画・重点事項

電子的図書館資料に関する国立大学図書館協会としての対応
出版者等との契約交渉の方針・実務体制の検討
国立情報学研究所のシステム更新に向けて、今後の図書館システムのあり方を踏まえた要望のとりまとめ

3. 国立大学図書館協会賞の選考・表彰

4. 海外派遣事業の実施

5. マネジメント・セミナーの開催について

- 1) 開催日時
平成19年6月27日(水) 13:00～16:40
- 2) 会場
福岡システムLSI 総合開発センター会議室A・B
- 3) 開催テーマ
「大学経営から見た図書館」

6. 国立大学図書館協会シンポジウムの開催について

- 1) 開催会場・開催日
西日本会場：大阪大学附属図書館 平成19年9月 5日(水)
東日本会場：筑波大学附属図書館 平成19年9月19日(水)
- 2) 開催テーマ
「若きライブラリアンの海外大学図書館研修：Global Librarian Network の形成を求めて」

7. 電子ジャーナル・タスクフォースの地区説明会の開催について

- 1) 開催目的
 1. 電子ジャーナルの契約、利用条件などに関する情報と意識の共有
・2008～2010 契約を中心とした出版社の動向の説明
 2. 各地区での電子ジャーナル等の契約状況の把握
 3. 実務担当者に対する契約上の留意点の具体的説明
 4. 各出版社の e-Book に関する動向
- 2) 開催時期
平成19年9～10月頃実施予定。具体的な日程は、各地区理事館と調整したうえで決定。

8. 理事会・委員会のあり方の再検討

- 1) 理事担当と委員会の構成
 - ・委員会相互のバランスや、若手職員の人材育成に配慮
 - ・電子ジャーナルタスクフォースのあり方
(タスクフォース事務局体制強化(たとえば非常勤職員の雇用)も含めて)
- 2) 事業計画立案手順
 - ・理事館選出方法の変更(春季地区総会で理事候補館選出から理事館選出へ)
 - ・次年度理事館が春季理事会で事業計画を立案

9. その他

- 1) 総会／マネジメント・セミナー予算・決算の別会計化を検討